

# 実践！機器分析【5】

# 物性測定的基础

【日時】 2014/6/25 (水) 13:00-17:00 (受付12:30より)  
【場所】 九州大学伊都キャンパス・西講義棟 3階第3講義室  
【主催】 九州大学中央分析センター伊都分室  
【共催】 九州大学ナノテクノロジープラットフォーム  
【協力】 株式会社堀場製作所、メトラート株式会社、日立ハイテクサイエンス株式会社

### 13:00-14:00 「信頼性の高いpH測定のコツについて」

pH測定の基本、原理から測定のコツまでを解説します。  
また、正確に測定するための校正方法や、電極の日常メンテナンスのポイントをわかりやすく紹介します。

### 14:00-15:00 「高精度な計量の実現に役立つ天秤の基礎」

正確で高精度な計量を行うための天びんと測り取るサンプルについて、押さえるべきポイントをわかりやすくご説明します。また、不確かさと最小計量値についても一部ご紹介します。

### 15:00-15:10 休憩

### 15:10-17:00 「熱分析の基礎と実際」

熱分析は、一定のプログラムに従って、試料を加熱または冷却しながら、試料に生じる変化を測定する技法で、各種の材料の基礎研究、開発評価の用途や、製品の出荷や受け入れ検査などでも広く活用されています。  
今回は示差走査熱量測定(DSC)、熱重量測定(TG)、熱機械分析(TMA)について測定原理と測定の実際、データの解釈をわかりやすくご説明し、各分野の試料の応用事例をご紹介します。

今年度は、基礎に加えて実際にデータを取得する上で役立つ内容に重点をおきます。現場で困っている方、よりよいデータを取得されたい方にも有用です。学内外どなたでもご参加できます。事前の参加登録にご協力をお願いします。途中入退室も自由ですので都合に合わせてご参加ください。

#### 【問合せ・申込先】

九州大学中央分析センター伊都分室 渡辺 Tel092-802-2857  
watanabe.midori.452@m.kyushu-u.ac.jp